



まちの話題

TOPICS



安心・安全のために 重要な役割

2/1

消防団の消防可搬ポンプおよび積載車の運用開始式

国東消防署南出張所で、消防可搬ポンプおよび積載車の運用開始式が行われました。(一財)空港振興・環境整備支援機構の助成を受け、今回積載車1台と消防可搬ポンプ2台を更新しました。更新した備品は安岐方面隊第16分団へ配備され、火災現場などで使用し、空港周辺地域の安心・安全のために重要な役割を担います。

さ 吉くんで元気!! 健康チャレンジ 特別版 ～運動と食を学ぶ～

1/30・31

国東高校・健康づくり教室

国東高校で同校の柔道部・弓道部・ウエイトリフティング部の生徒を対象に、大分大学福祉健康科学部助教の田中氏が、ケガを予防するためのストレッチ方法などを指導しました。また、弓道部の生徒は食生活改善推進員と一緒に「部活動生に必要な栄養」をテーマに調理実習を行い、食について学びました。



川 瀬兄弟が 国東市で自主トレ

1/15

プロ野球選手が自主トレーニングを市長報告

福岡ソフトバンクホークスの川瀬晃選手(左から2番目)とオリックス・バファローズの川瀬堅斗選手(右から3番目)が市役所を訪れ、市内での自主トレーニング実施を報告しました。川瀬晃選手は「施設が改修され、すごく充実したトレーニングができている。兄弟でプロ野球界や国東市を盛り上げていきたい」と今シーズンの意気込みを語りました。

約 1キロの 河津桜帯が完成

1/13

河津桜記念植樹祭(旭日小学校閉校記念植樹)

今年で6回目を迎えた河津桜記念植樹祭に旭日小学校の児童や保護者、地域住民など約50人が参加しました。今回の植樹により治郎丸川から重綱川までの約1キロの河津桜帯が完成。桜を植えた場所は児童らが「旭日っ子広場」と命名し、記念碑も建てられました。参加者にとって忘れられない一日となりました。



国 東市の農業に ついて考える

2/7

安岐中学校・農業体験

安岐中学校1年生76人が地域農業の現状や工夫を知り、国東市の今後の農業について考えることを目的に安岐町のウーマンメイクと上原農園で農業体験を行いました。生徒は施設内の見学や収穫、袋詰めなどを体験しました。工藤絵梨夏さんは「上原農園のハウスにネギがたくさんあって驚きました」と話してくれました。

持 続可能な減災社会の 実現に向けて

2/2

減災シンポジウム in 国東市

武蔵中央公民館で大分大学主催の減災シンポジウムが開催され、要配慮者利用施設の避難訓練についての発表や国東高校の生徒、大分大学の学生らによる減災社会に向けた提言などが行われました。また、地方気象台長や市民、国東高校の生徒などがパネリストとして「みんなでつくる国東の防災・減災」をテーマに話し合いました。



も ちもちしていて おいしかった

1/28

国東小・地元産赤米を学校給食で提供

地産地消の取り組みとして、地元産農産物の消費拡大や食育の推進を図ることを目的に、赤米を使用した混ぜご飯が市内幼稚園小中学校の学校給食で提供されました。長岡慶さん(6年)は「いつもの白ご飯と違って、もちもちしていておいしかった」と話してくれました。

県 建設業協会国東支部が 国高生にエール

1/24

国東高校環境土木科・応援宣言交付式

国東高校環境土木科の3年生19人が今春に卒業を迎えるにあたり、同校で「応援宣言交付式」が行われました。県建設業協会国東支部の吉田徹哉支部長が「仕事に対して誠実に向き合ってください。つらいとき、行き詰まったときは応援宣言を思い出してほしい」と応援を宣言し、生徒代表に宣言書が渡されました。

